

平成24年度高齢者おでかけ支援「シニア半わり」社会実験

1. 社会実験について

(1) 実験の内容

バスICカード「リゅーと」を活用して、シニア世代を対象にバス運賃を半額割引にする社会実験を実施した。外出状況や意識の変化をバス利用データやアンケートより検証する。

- 実施期間 平成24年10月～平成24年12月（3か月）
平成24年10月～平成25年3月（6か月）
- 参加費 1,500円（3か月）／3,000円（6か月）
- 対象 市内在住の65歳以上
- 募集人数 500名
- 参加人数 426名



	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	合計
3か月コース	3	19	16	4	3	2	19	66
6か月コース	10	65	129	12	5	7	132	360
合計	13	84	145	16	8	9	151	426

□ 効果検証のための資料

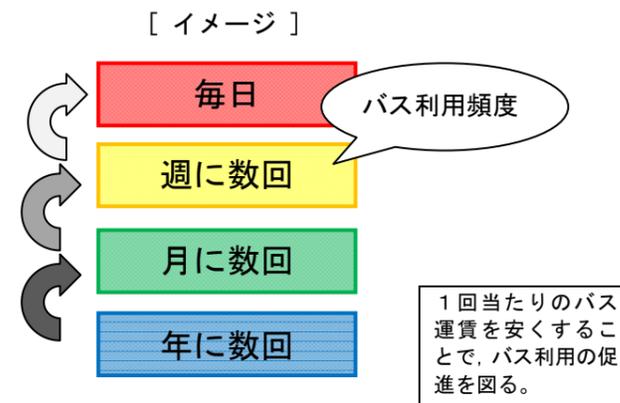
	概要
アンケート	実験参加前並びに期間中における外出状況やシニア半わりモニターに対する意向等を把握
移動メモ	実験参加前並びに期間中における1週間の外出状況を把握
バス利用状況	新潟交通(株)より提供されたモニターのバス利用状況

(2) 目的

誰もが移動しやすい交通環境の実現。特に、高齢者のなかで普段あまりバスを利用しない人にも、バスを乗ってもらうための仕組みづくり。

(3) 期待する効果

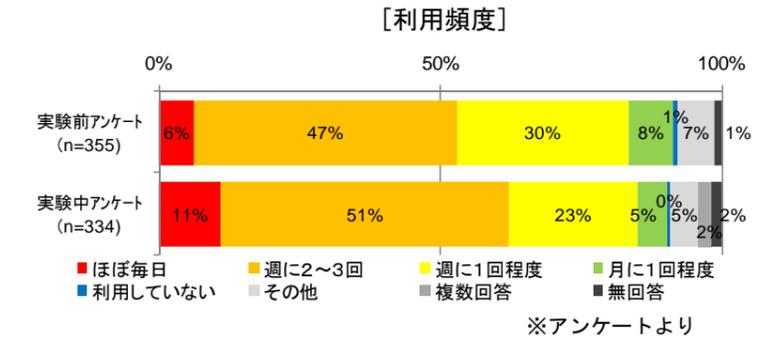
- ・ 健康で生きがいを持って暮らしやすくなる
- ・ まちなかに出かけやすくなる
- ・ 車に頼らなくても移動しやすくなる



2. モニターの行動

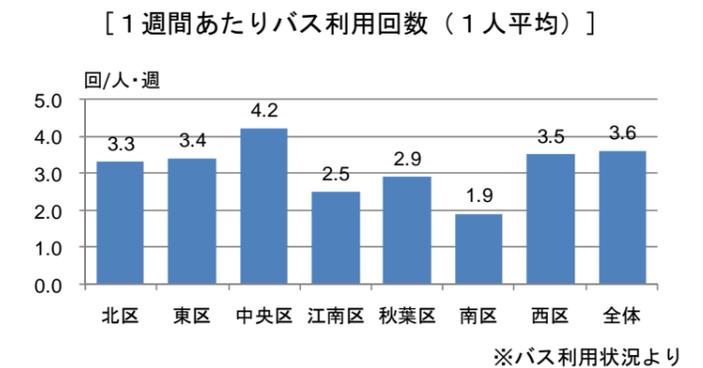
(1) バス利用の頻度

実験中は、バスを利用する頻度が高くなった。



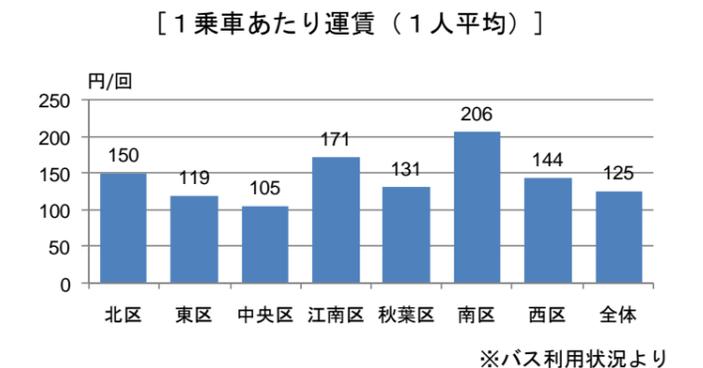
(2) 平均利用回数

1週間あたりバス利用回数を平均で見ると3.6回/人、区別は右図のとおり。



(3) 平均運賃

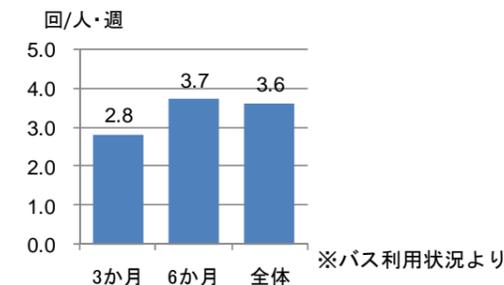
バス利用の際の1乗車あたりの平均支払運賃は125円/回、区別は右図のとおり。



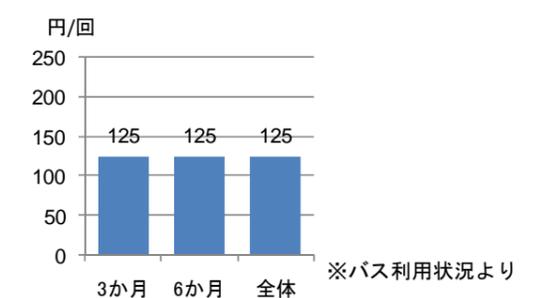
(4) コース別の平均利用回数・平均運賃

1週間あたりバス利用回数は、コースによって約1回の違いがある。また1回あたり運賃は、コースに関係なく同額であった。

[1週間あたりバス利用回数（1人平均）]



[1乗車あたり運賃（1人平均）]



(5) 降車したバス停名

居住地によらず、期間中に1度でも降車したバス停名は、古町、万代シテイバスセンター前、新潟駅前が上位を占めている。

[上位3位の降車したバス停名]

	北区	東区	中央区	江南区
1	新潟駅前 11人(84%)	万代シテイバスセンター前 68人(80%)	古町 135人(93%)	万代シテイバスセンター前 12人(75%)
2	万代シテイバスセンター前 9人(69%)	古町 68人(80%)	新潟駅前 120人(82%)	古町 11人(68%)
3	古町 8人(61%)	本町 66人(78%)	万代シテイバスセンター前 117人(80%)	本町 10人(62%)

	秋葉区	南区	西区	全体
1	新潟駅前 8人(100%)	新潟駅前 8人(88%)	古町 134人(88%)	古町 370人(86%)
2	古町 7人(87%)	古町 7人(77%)	万代シテイバスセンター前 110人(72%)	万代シテイバスセンター前 325人(76%)
3	万代シテイバスセンター前 6人(75%)	本町 6人(66%)	新潟駅前 104人(68%)	新潟駅前 307人(72%)

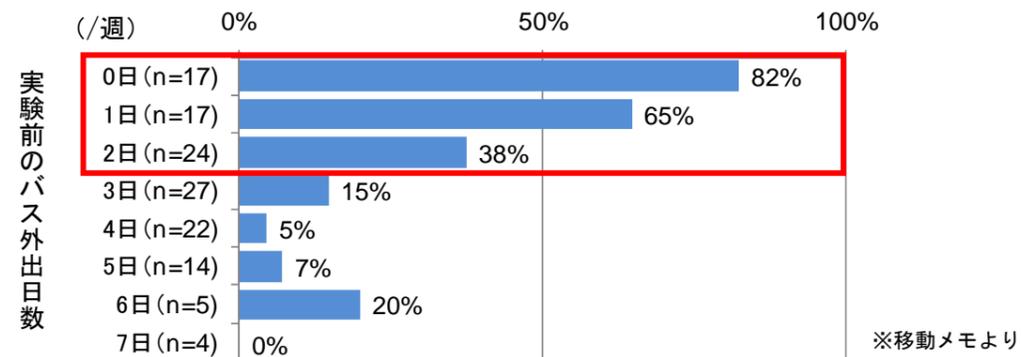
※バス利用状況より。括弧内は、区別のモニター割合。

3. 実験結果

(1) バスでの外出が少なかった方のおでかけを誘発

バス外出日数を比較すると、実験前は全くバスで外出しなかった方の82%が1日以上外出するなど、バスでのおでかけを誘発した。

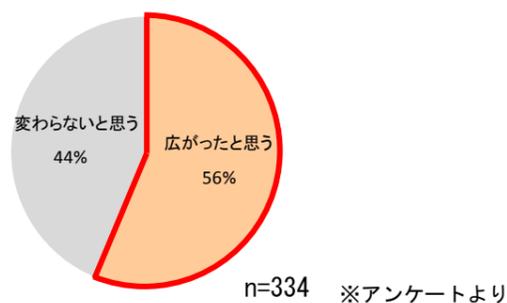
[実験前に比べてバス利用日数が1日以上増えた方の割合]



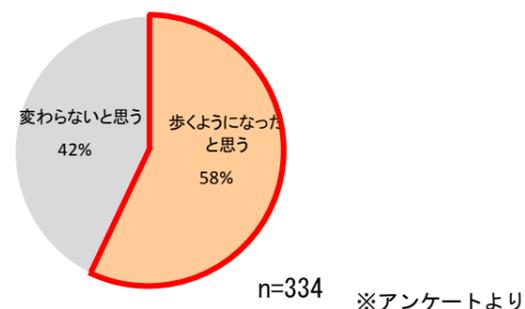
(2) 移動範囲の拡大や歩く機会が増加

半数以上が移動範囲の拡大や歩く機会が増加したとしている。

[移動範囲の変化]



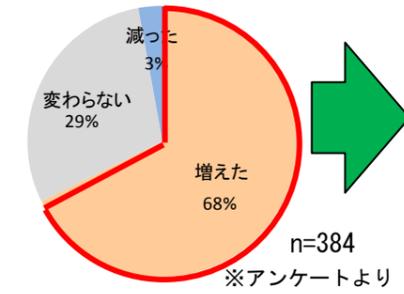
[歩く機会の変化]



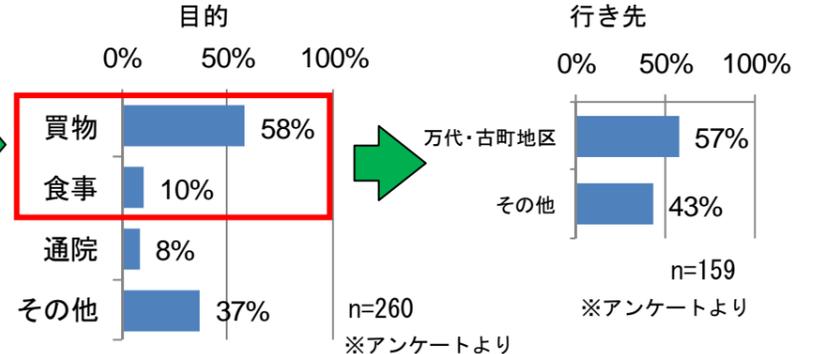
(3) 買物・食事のための外出回数が増加

バスの外出回数が増えた目的は、買物・食事の割合が高く、特にまちなかへの外出を促進した。

[バス利用回数の変化]



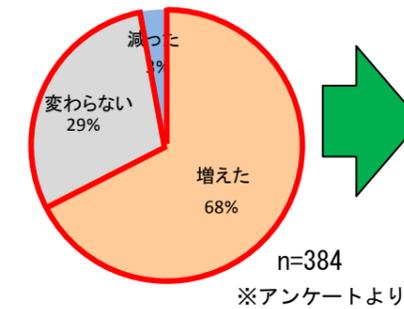
[目的と行先]



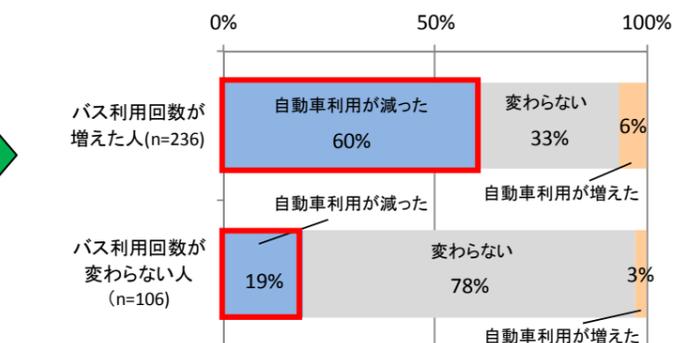
(4) 自動車の利用が軽減

バスでの外出回数が増えた方の60%が自動車での外出回数が減少したとしている。

[バス利用回数の変化]



[自動車利用回数の変化]



4. モニターの声

- ・ 高齢者の健康増進や高齢者運転事故防止につながる。また、バスの利用者が増えることで、事業者も元気になる。
- ・ 家に閉じこもりがちになる高齢者の行動を広げ、人とかかわりを持たせる良い活動だと思ふ。
- ・ 普段は車なのでまちなかは通り過ぎていたが、バスを利用することによりゆっくり街歩きを楽しめた。
- ・ 現在のバス会社のやり方で良いと思ふ。税金を投入することは不要と思ふ。

5. まとめ

- ・ バス運賃が安くなることで、おでかけの誘発やまちなかへの外出の促進、自動車利用の軽減に寄与することが分かった。
- ・ しかし、今回の社会実験では、実験前の精度の高いバス利用状況の把握ができなかった。(今後の展開)
- ・ 平成25年度も6月～10月の5か月間で実施。
 - 春夏季の高齢者の外出状況を把握
 - 詳細なおでかけ状況を把握するため、モニターへ聞き取り調査を実施
- ・ 平成24年度の実験を含めた1年を通じた高齢者の行動把握。